

■ 学校の共通目標

授業づくり	重点	・どの教科においても、一単位時間の「学習の流れ」を提示し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。	中間評価		最終評価	
学級（教科）経営		・学習や行動のルールを校内で明確にし、生徒にわかるように示していく。				

■ 教科の取組み内容

教科	学習状況（４月）	課 題（４月）	改善に向けた取組み（４月）	中間評価・追加する取組み（10月）	最終評価（２月）
国語	（２年）思考・判断力は目標値に達していたが、基礎、表現力は下回っていた。観点別では「読む能力」事項では目標値に達していたが、他の観点別では下回っていた。 （１年）基礎、思考・判断力は目標値に達していたが、表現力は下回っていた。観点別では「言語」事項が目標値を下回り、他の観点別では目標値を上回っていた。	外国にルーツのある生徒の中には、生活言語・学習言語の習得が十分でない生徒がおり、国際学級との連携が必要である。全般的に考えを明確にして、文章を書く力の育成が課題である。	漢字に対する興味や関心・意欲を喚起し、正しい読み・書きができるよう、毎時間漢字学習を行い、基本的な漢字能力を身に付けさせる。長期休業明けに漢字コンテストを実施する。 授業の中で、作文や短文を書かせる作業を導入する。		
社会	社会的事象への関心・意欲・態度は目標値に達していたが、思考・判断、資料活用 of 技能、知識・理解、については目標値を下回っていた。	家庭学習の環境が整っておらず、宿題・課題などの提出物にきちんと取り組めない現状がある。 図や資料を用いての読み取りや表現の力に課題がある。	基礎・基本の定着を図るため、毎回小テストを実施する。また、単元を終えるたびに単元テストを実施する。 今まで以上に宿題や課題を生徒に提示し、提出しない生徒や授業で理解が不十分な生徒への補習授業を実施する。		
数学	思考・判断力、観点別の数量や図形などの知識・理解については、おおむね目標値に達していたが、他は全体的に目標値に達していない。特に、数学的な見方・考え方、数学的な技能について目標値を下回っていた。	数学的な見方・考え方、技能が不十分である。 小テストや復習の習慣化、宿題への取組に課題がある。	小テストの実施により、学習の定着を図る。 宿題を定期的に課すことで、基礎基本の定着を図る。 ステップごと目標を明確にし、理解の徹底を図る。 少人数授業、T．T．を生かし、一人一人のつまずきに気づき、一人一人に応じた学習を進める。		
理科	・３学年については、基礎、活用、表現力で目標値に大きく近づいた。また、思考・判断力では、目標値を上回った。 ・２学年では、全ての項目で目標値を下回った。観点別では、特に科学的な思考・表現の分野で数値が低い。	・基礎・基本の定着が不十分で、発展的学習に結びついていない。 ・自ら課題を設定し、解決に導くことができる生徒が少ない。 ・実験結果を考察する力や、資料から情報を整理して文章にまとめる力に課題がある。	・基礎・基本の定着を目指し、単元ごとに小テストを行う。また、ワークを活用し、学習内容を振り返る時間を設ける。 ・実験の予想やまとめを丁寧に行い、目的をもって実験ができる環境を整える。 ・理解が不十分な生徒への補習授業を行う。		
英語	・３年生については、全国値を大きく上回り、１，２年次から行ってきた学習指導が結実してきている。２年生はほぼ全国値と同じくらいの学力があり、今後さらに伸ばしていきたい。 ・２年生の「表現の能力」がやや低い。	・外国にルーツのある生徒が多く、英語力が二極化している。 ・自分の考えを明確にして英文を書く力や、相手や目的を意識し文章を組み立てる力を少しずつ育てていきたい。	・基礎・基本の定着を意識した少人数授業の充実を図る。 ・表現力、なかんずく書く力を身に付けさせるために、授業のねらいを明確にし、そのポイントを意識して指導する。		

※分量は２ページ以上となってもよい。